

今月のメッセージ (2013年9月)

日本銀行富山事務所長
佐子 裕厚

とやまの祭り

例年9月1日から3日にかけて「おわら風の盆」が八尾で開催されます。優美な歌と踊りに哀しげな三味線と胡弓の調べ。夜が更けるほどに趣が増すこの祭りは、高橋治さんの小説や石川さゆりさんの歌などで全国的に知られるようになり、3日間で20万人ほどの観光客が訪れます。

梅雨上がりの水溜りが残る山王¹さんの参道を、夏祭りの提灯を見上げながら歩いていると、「富山にも本格的な夏が来たなあ…」という思いになります。神通川の花火大会を見て、富山のよさこい、高岡の七夕、魚津の「たてもん祭り」などを覗いて8月を過ごすと、「おわら風の盆」の季節がやってきます。

富山は祭りの多い県です。

特に曳山や行灯は県内各地（石動、高岡、福野、八尾、城端、伏木、岩瀬、津沢、庄川、砺波、氷見、黒河、新湊など）で開催され、調度品の妙と夜のデコレーションの美しさには目を見張るものがあります。

高岡の御印祭、城端の「むぎや祭り」、五箇山の「こきりこ祭り」などは「おわら風の盆」に引けを取らない優美な歌と踊りで観客を魅了します。「獅子舞」が盛んなのも当県の特徴です（過去の本メッセージで紹介した福光や笹川の祭りでも獅子舞が見られます）。滑川の「ネブタ流し」や福岡の「つくりもんまつり」といったユニークな祭りもあります。

観光入込客数（宿泊客＋日帰り客）に占める県外客の比率（2011年）を比較すると、富山県23.2%に対して、石川県56.3%、福井県58.0%、新潟県41.3%、長野県64.7%となっています。当県への県外客の比率は低いまです。

当県の祭りが全国的にあまり知られていないことを考えれば²、当県の祭りの魅力を積極的にPRしていくことは来客増に向けた有益な施策だと思えます。

ただ、それぞれの祭りは地元の方々の大切な「宝物」ばかりです。そのままそっとしておきたいような気もしています。

以 上

¹ 富山市の中心部にある日枝神社の別称です。

² 富山県が2012年2月に首都圏住民を対象に行った「新幹線開業に関する首都圏住民に対する意識調査」では、新幹線開業を機に行ってみたいと思う観光対象として、黒部峡谷（45.0%）、黒部ダム（34.5%）、五箇山（25.4%）などを挙げる方は多かったのですが、おわら風の盆（10.5%）、こきりこ祭り（4.2%）などの祭りを挙げる方は比較的少ないとの結果でした。